

### 防犯灯LED化の促進と 自治会への助成拡大を

**荒川議員** 地球温暖化や電力不足

に備えるための対策として、従来の防犯灯から節電効果の高いLED照明付きの防犯灯への切替えを促進し、自治会へ助成してはどうか。

**市長** 本市では、自治会が新たに防犯灯を設置する場合、真岡市防犯協会を通じて防犯灯設置補助金を交付している。補助金の額は、従来の防犯灯、LED防犯灯の区別なく交付している。

LED防犯灯は、従来の防犯灯より二酸化炭素の排出量が約50%削減されるとのことであり、地球温暖化防止に効果がある。また長寿命、省電力であるため、省エネルギー対策にも効果があるとして、全国でも関心が高まってきている。現在、LED防犯灯は、照明器具自体にLEDが組込まれたタイプと直管型LEDランプを使用するタイプがあり、照明器具自体にLEDが組込まれたタイプは、従来の防犯灯と比べて割高である。また、直管型LEDランプを使用するタイプは、ランプ自体

が様々な規格で複数の種類が製造されているため、器具をそのまま使用できるものと器具の配線工事が必要なものがあり、設置に際しては検討が必要となる。

今後は、規格の統一が図られた品質のよい製品が適正な価格で供給されると思われるので、防犯灯LED化の推進と助成については、普及状況や導入費用の推移を見極めながら検討していきたい。

### 公共施設の長寿命化のための 取組みと今後の計画は

**荒川議員** 道路や橋、上下水道、公共施設の社会資本の老朽化が深刻な問題となっている。

危険箇所を総点検し、「危険の芽」を摘んでおく必要がある。必要最小限の費用で、強化や修理を施し長寿命化を行う「予防保全」を徹底・実行すべきと考えるが、現在の取組みと今後の計画について伺いたい。また、PFIの手法を取入れてはどうか。

**市長** 道路は破損箇所の補修を随時行い、老朽化した舗装も計画的に修繕している。橋梁は今年度、



昭和28年にかげられた常盤橋(田町地内)

橋梁長寿命化修繕計画を策定し、来年度以降、補修工事を実施していく。上水道施設は耐震診断の結果をもとに耐震性強化や計画的な施設修繕を行っていく。管路施設は道路改良等の進捗にあわせて順次更新していく。下水道管渠はテレビカメラ調査を実施し、不良箇所の補修を行っていく。水処理センターは改修の必要がある施設から改築工事を実施している。

今後は、さらなる施設の老朽化に対応するため、長寿命化計画を策定し、緊急性の高い施設から計画的に更新を図っていく。

これらの公共事業に係る事業費は、市の財政状況の中で対応することが基本であるが、PFIの導入も一つの手法である。今後とも

PFIの導入に当たっては、各事業の事業費やサービスの内容、運営期間などにより、その効果に違いがあるので、十分考慮しながら検討していきたい。

### 入札結果に対する見解と 今後の入札方法は

**高橋議員** 本市の土木建築Aランクの入札状況を見ると、平成二十二年度が十九件で落札率九六%、平成二十三年度が二十五件で落札率九五%である。この状況に対する見解と入札方法を伺いたい。

**市長** 本市は入札の透明性、公平性の確保を図るため、予定価格は事前公表している。予定価格は設計図書に定められた仕様、数量など、県が示している工事標準積算基準書や各種単価により算出した標準的な価格である。入札参加者は設計図書に基づき、市場状況を考慮しながら、自社で可能な予定価格以下の金額を積算して入札参加している。この自社価格を入れた結果、最低価格となった金額の割合がこの落札率なので、入札は適切な競争により、適正に執行さ

れているものと考えている。

公共工事の発注は、入札及び契約の公正かつ競争性を確保するため、市への入札参加資格登録者の中から当該入札に参加資格のある者を選定して行う指名競争入札と入札要件を公告して参加者を募って行う一般競争入札を併用している。本市では、発注金額や工事種別などによって区分しており、予定価格が一千万円以上の建設工事は発注条件を設定した事後審査型条件付き一般競争入札、それ以下は指名競争入札である。今後も地元企業の健全育成に配慮しながら、工事規模や技術的難易度に応じて発注し、当面は現行制度を継続したいと考えている。

